

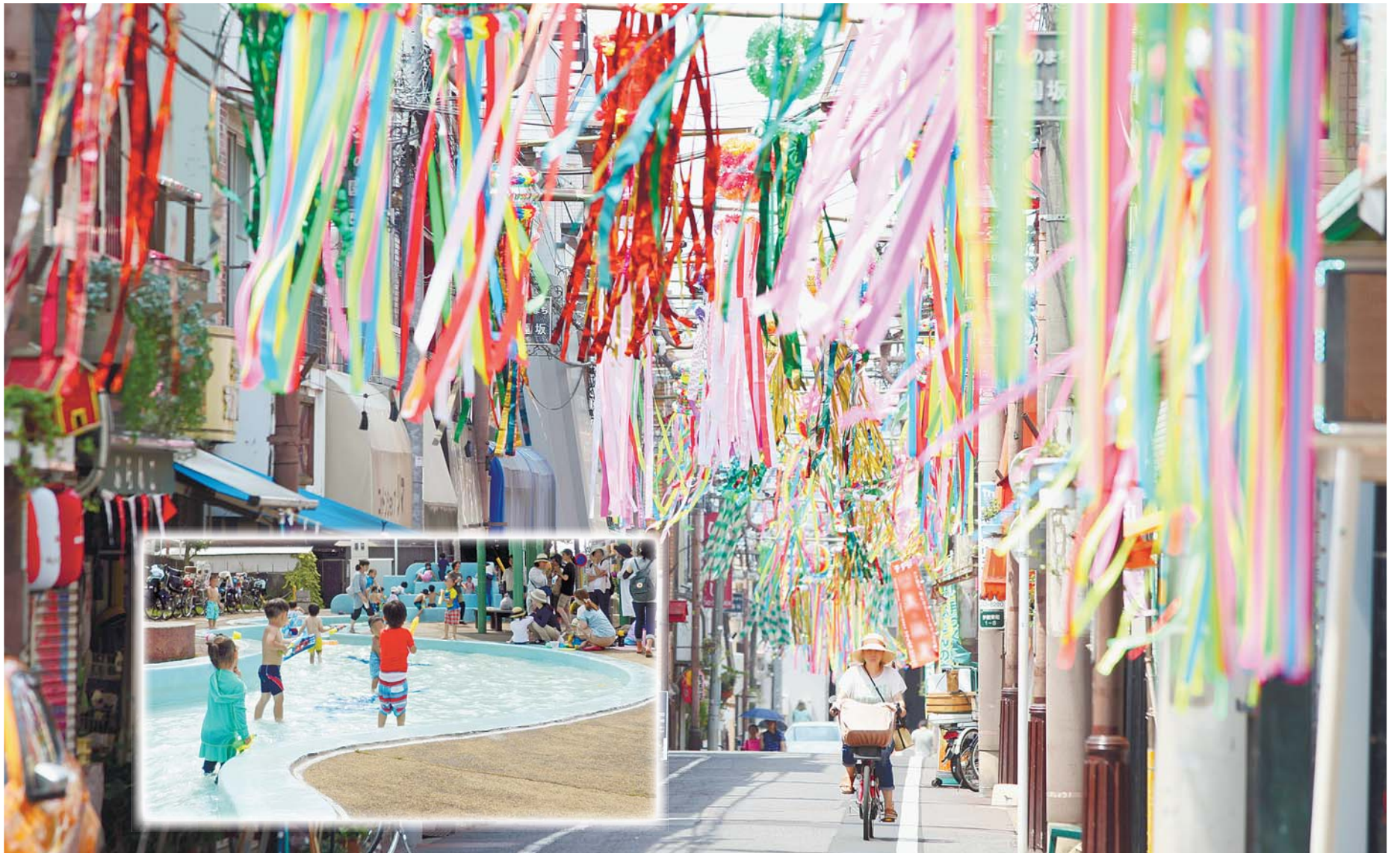


こ だ い ら

市議会だより



平成29年(2017年)7月30日 NO.232 発行/小平市議会 編集/広聴広報特別委員会
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地 TEL 042 (346) 9566
小平市議会ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>
電子メール gikai@city.kodaira.lg.jp



夏到来！(学園坂商店街、ひょうたん池公園)

小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。

我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日
小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され全会一致で可決されたものです。

平成29年4月臨時会が4月26日に開催され、副市長の選任など2件の市長提出議案を同意・承認しました。

平成29年6月定例会は、6月6日から29日までの24日間の会期で開催されました。この定例会では、新しい議長・副議長を選出し、常任委員会等の構成を決定するなど議会人事を行ったほか、一般会計補正予算(第2号)など24件の市長提出議案を可決・同意しました。議員提出議案は、組織的犯罪処罰法改正案の慎重審議を求める意見書など3件を可決しました。

また、6月7日から3日間にわたり26人の議員から64件の一般質問がありました。

4月臨時会・6月定例会

新しい議会人事を決定

都市基盤整備調査、公共施設マネジメント調査の
各特別委員会を設置

就任にあたって



副議長
津本 裕子



議長
滝口 幸一

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちは、去る6月6日に開催されました6月定例会初日において、議長並びに副議長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。議長、副議長として公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、今日、市民の皆様を取り巻く環境は、少子高齢社会の進展に伴うものを初め、災害対策、環境問題、都市基盤整備など多種多様の課題が山積しております。こうした市政の諸課題に対応し、市民の皆様が安全に安心して暮らせる小平を実現していくためには、二元代表制の一翼を担う市議会の役割がますます重要となつてまいります。議会の権能を改めて自覚し、議会機能のさらなる強化を図るとともに、市民の皆様の声を市政に反映できるよう、全力を尽くしてまいります。また、小平市議会では、常任委員会による執行機関への政策提言の実施など、これまで真摯に議会改革に取り組んでまいりましたが、未だ改革の途上にあります。今後も市民の皆様のご意見をお伺いするとともに議会での議論を経て不断の見直しを図り、改革をさらに進めることで、より開かれた、わかりやすい議会を目指してまいります。

今後とも、小平市のさらなる発展と市民生活の向上に向けて、全力を尽くしてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

小平市監査委員に 永田 政弘 議員

議会選出の監査委員に、永田政弘議員を選任する議案について同意しました。

可決、同意または承認した
主な議案

平成29年度一般会計
補正予算（第2号）

本補正予算は、いわゆる肉づけ予算として、当初予算に計上を留保した事業等を早期に実施することが必要であるとの判断から補正するものです。

歳入では、事業実施に伴い国、都支出金、基金繰入金、市債等を増額するほか、留保していた自主財源として財政調整基金からの繰入金を活用します。

歳出では、小平市第三次長期総合計画の5つの体系のうち、「安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして」の分野では、市民活動支援公募事業の拡充等を行います。

「快適で、ほんわかとするまちをめざして」の分野では、たけのこ公園トイレのリニューアルなどを行います。

「健康で、はつらつとしたまちをめざして」の分野では、上宿小学童クラブ第二の整備等を行います。

「住みやすく、希望のあるまちをめざして」の分野では、小川駅西口地区及び小平駅北口地区の再開発に向けた取り組みなどを進めます。

「健全で、進化するまちをめざして」の分野では、窓口サービスの改善等を進めます。

予算規模としては歳入歳出をそれぞれ10億2千百29万1千円増額し、総額を6百19億1千8百29万1千円とします。

東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金条例

本条例は、東京²⁰²⁰オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした小平市の子どもの育成にかかわる施策の推進を図るための資金に充てるため、小平市東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金を設置するものです。基金として積み立てる額は、毎年度、一般会計歳入歳出予算で定めます。

副市長の選任同意

教山裕一郎氏が平成29年4月30日に任期満了となるため、その後任者として伊藤俊哉氏を5月1日付で副市長に選任する議案が提出され、同意しました。

農業委員会委員の任命同意

任期満了に伴う農業委員会委員の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり同意しました。

植竹 勝義氏、丹生 実氏
宮寺 達藏氏、阿部 秀則氏
福島 浩幸氏、大久保晴央氏
野中 敏夫氏、深谷 俊幸氏
中村 猛氏、小林 幸夫氏
竹内 博行氏、立川 裕之氏
小野 久枝氏、吉野喜久代氏
梅室 善之氏、淵野雄二郎氏

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

退職に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める議案が提出され、次のとおり同意しました。
立川 栄氏

議案に対する各議員の賛否

4月臨時会

会派名略称 公明：市議会公明党（6） フォ：フォーラム小平（6） 政和：政和会（5） 共産：日本共産党小平市議団（4） 生ネ：生活者ネットワーク（4）
（ ）内は各会派の議員数 緑：緑の党こだいら（1…無会派） ムサ：ムサシ（1…無会派） 都民：都民ファーストの会小平（1…無会派）

○：賛成　×：反対　－：欠席　退：退場			議決結果	公明					フォ					政和				共産			生ネ				緑	ムサ	都民	賛成	反対				
区分	議案番号	件名		津本裕子	虻川浩	山岸真知子	浅倉成樹	佐藤徹	幸田昌之	石毛航太郎	小林洋子	滝口幸一	竹井ようこ	中江みわ	吉本ゆうすけ	小野高一	磯山亮	川里春治	永田政弘	宮寺賢一	佐藤充	木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷正	日向美砂子	平野ひろみ	さとう悦子			山崎とも子	橋本久雄	伊藤央	佐野郁夫
議案 市長提出	第26号	小平市副市長の選任同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	26	1

全会一致で議決した議案※1						
区分	議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
市長提出議案	第23号	専決処分（小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認			

※1 議長は表決に加わりません。

6月定例会（6月定例会初日に新たな正副議長が選出されたため、就任後に議決された議案は表を分けて表示しています。）

会派名略称 公明：市議会公明党（6） フォ：フォーラム小平（6） 政和：政和会（5） 共産：日本共産党小平市議団（4） 生ネ：生活者ネットワーク（4）
（ ）内は各会派の議員数 緑：緑の党こだいら（1…無会派） ムサ：ムサシ（1…無会派） 都民：都民ファーストの会小平（1…無会派）

○：賛成 ×：反対 ー：欠席または不在 退：退場			議決結果	公明					フォ					政和					共産			生ネ			緑	ムサ	都民	賛成	反対				
区分	議案番号	件名		津本裕子	虻川浩	山岸真知子	浅倉成樹	佐藤徹	幸田昌之	石毛航太郎	小林洋子	滝口幸一	竹井ようこ	中江みわ	吉本ゆうすけ	磯山亮	小野高一	川里春治	永田政弘	宮寺賢一	佐藤充	木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷正	平野ひろみ	さとう悦子	日向美砂子			山崎とも子	橋本久雄	伊藤央	佐野郁夫
議市長提案	第24号	平成29年度小平市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	25	2
	第25号	小平市東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金条例	原案可決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	ー	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	14	12

※1 議長は表決に加わりません。

会派名略称 公明：市議会公明党（6） フォ：フォーラム小平（6） 政和：政和会（5） 共産：日本共産党小平市議団（4） 生ネ：生活者ネットワーク（4）
（ ）内は各会派の議員数 緑：緑の党こだいら（1…無会派） ムサ：ムサシ（1…無会派） 都民：都民ファーストの会小平（1…無会派）

○：賛成 ×：反対 ー：欠席 退：退場			議決結果	公明					フォ					政和					共産					生ネ					緑	ムサ	都民	賛	反
区分	議案番号	件名		津本裕子	虻川浩	山岸真知子	浅倉成樹	佐藤徹	幸田昌之	石毛航太郎	小林洋子	滝口幸一	竹井ようこ	中江みわ	吉本ゆうすけ	磯山亮	小野高一	川里春治	永田政弘	宮寺賢一	佐藤充	木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷正	平野ひろみ	さとう悦子	日向美砂子	山崎とも子	橋本久雄	伊藤央	佐野郁夫	賛成	反対
議員提案	第30号	組織的犯罪処罰法改正案の慎重審議を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※1議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※2	25	1

全会一致で議決した議案※1※2※3						
区分	議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議員提出議案	第27号	都市基盤整備調査特別委員会の設置	原案可決	第28号	公共施設マネジメント調査特別委員会の設置	原案可決
市長提出議案	第27号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第38号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意
	第28号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第39号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意
	第29号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第40号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意
	第30号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第41号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意
	第31号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第42号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意
	第32号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第43号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意
	第33号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第44号	個人情報保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例	原案可決
	第34号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第45号	小平市立保育園等の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第35号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第46号	小平市立学童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決
	第36号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第47号	小平市消防団消防ポンプ自動車の買入れについて	原案可決
	第37号	小平市農業委員会委員の任命同意	同意	第48号	小平市監査委員の選任同意	同意

※1 議長は表決に加わりません。

※2 佐野郁夫議員は公職選挙法第90条の規定により平成29年6月23日付で退職したため、議員提出議案第30号及び市長提出議案第45号～47号の表決に加わっていません。

※3 小野高一議員は採決時不在のため、議員提出議案第27号、28号及び市長提出議案第27号～44号、48号の表決に加わっていません。

常任委員会 特別委員会等の 構成

正・副委員長以外は五十音順（◎＝委員長、○＝副委員長）

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により四つの常任委員会を設置しています。各委員会の所管は次のとおりです。

■総務委員会

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、広聴、市民相談などに関する事項

■生活文教委員会

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

■厚生委員会

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障害者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

■環境建設委員会

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

総務委員会（7人）



◎嶋川 浩



○宮寺 賢一



竹井ようこ



日向美砂子



細谷 正



山岸真知子



吉本ゆうすけ

生活文教委員会（7人）



◎磯山 亮



○木村まゆみ



浅倉 成樹



伊藤 央



川里 春治



中江 みわ



山崎とも子

環境建設委員会（7人※欠員2人）



◎佐藤 充



○小林 洋子



佐藤 徹



永田 政弘



平野ひろみ

厚生委員会（7人）



◎石毛航太郎



○幸田 昌之



小野 高一



吉瀬恵美子



さとう悦子



津本 裕子



橋本 久雄

議会運営委員会

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

議会運営委員会（7人）

- ◎小林 洋子
- さとう悦子
- 浅倉 成樹
- 嶋川 浩
- 小野 高一
- 細谷 正
- 吉本ゆうすけ

特別委員会

常任委員会とは別に、特定事件を調査するための委員会です。

広聴広報特別委員会（8人）

- ◎永田 政弘
- 竹井ようこ
- 磯山 亮
- 吉瀬恵美子
- 佐藤 徹
- 中江 みわ
- 山岸真知子
- 山崎とも子

都市基盤整備調査特別委員会（10人※欠員1人）

- ◎幸田 昌之
- 吉瀬恵美子
- 佐藤 徹
- 中江 みわ
- 永田 政弘
- 橋本 久雄
- 日向美砂子
- 宮寺 賢一
- 山崎とも子

公共施設マネジメント調査特別委員会（10人）

- ◎平野ひろみ
- 山岸真知子
- 石毛航太郎
- 磯山 亮
- 伊藤 央
- 川里 春治
- 木村まゆみ
- 佐藤 充
- 竹井ようこ
- 津本 裕子

今後の市議会の日程（予定）

開会時刻：原則として午前9時 場所：市役所7階
傍聴される方は、議会事務局へお越しください。

8月21日(月)	総務委員会 請願・陳情締め切り（午前中）（※1）
8月22日(火)	生活文教委員会（※2）
8月23日(水)	厚生委員会（※2）
8月24日(木)	環境建設委員会（※2）
8月31日(木)	議会運営委員会（※3）
9月5日(火)	9月定例会本会議（初日）
9月6日(水)	9月定例会本会議（一般質問）
9月7日(木)	9月定例会本会議（一般質問）
9月8日(金)	9月定例会本会議（一般質問）
9月12日(火)	総務委員会
9月13日(水)	生活文教委員会
9月14日(木)	厚生委員会
9月15日(金)	環境建設委員会 請願・陳情締め切り（午前中）（※4）
9月19日(火)	広聴広報特別委員会
9月20日(水)	都市基盤整備調査特別委員会
9月21日(木)	公共施設マネジメント調査特別委員会
9月26日(火)	議会運営委員会（※3）
9月29日(金)	9月定例会本会議（最終日）
10月10日(火)	広聴広報特別委員会（※3）
10月11日(水)	決算特別委員会（一般会計）
10月12日(木)	決算特別委員会（一般会計）
10月13日(金)	決算特別委員会（一般会計）
10月17日(火)	決算特別委員会（特別会計）
10月17日(火)	広聴広報特別委員会

（※1）9月定例会初日日程の受け付け期限です。
（※2）当日は現地視察を予定しており、委員会室での議案や請願等の審査または調査はありません。
（※3）開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。
（※4）9月定例会最終日日程の受け付け期限です。

一部事務組合協議会

昭和病院企業団協議会

細谷 正 幸田 昌之

湖南衛生組合協議会

川里 春治 竹井ようこ

小平・村山・大和衛生組合協議会

小林 洋子 さとう悦子

佐藤 充 山岸真知子

東京都十一市競輪事業組合・東京都四市競艇事業組合協議会

小野 高一 津本 裕子

東京たま広域資源循環組合協議会

嶋川 亮 吉本ゆうすけ

多摩六都科学館組合協議会

山崎とも子

磯山 亮

広域連合協議会

東京都後期高齢者医療広域連合協議会

石毛航太郎

協議会等理事及び委員

東京都三多摩地区消防運営協議会

嶋川 亮 永田 政弘

東京都公平委員会関係団体協議会

嶋川 幸一

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

嶋川 幸一

さとう悦子（第1委員会）

吉瀬恵美子（第2委員会）

宮寺 賢一（第3委員会）

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

嶋川 幸一 小林 洋子

多摩川流域下水道促進協議会

嶋川 幸一

野火止用水保全対策協議会

佐藤 徹 細谷 正

山崎とも子

東京河川改修促進連盟

嶋川 幸一

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

磯山 亮

嶋川 幸一 小林 洋子

多摩北部都市広域行政圏協議会

嶋川 浩 永田 政弘

東京都公平委員会関係団体協議会

嶋川 幸一

市長附属機関等委員

嶋川 幸一

都市計画審議会

木村まゆみ 佐藤 徹

竹井ようこ 日向美砂子

宮寺 賢一

交通安全対策協議会

川里 春治 吉瀬恵美子

中江 みわ 山岸真知子

土地開発公社社評議員会

嶋川 浩 佐藤 充

浅倉 成樹 磯山 亮

平野ひろみ 幸田 昌之

吉本ゆうすけ

公益財団法人小平市文化振興財団評議員会

磯山 亮

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。

これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。

東京都薬用植物園近隣の交通安全対策と仮称後継者バンク創設

佐藤 徹議員(市議会公明党)



スーパーマーケット出店に伴う近隣地域の交通安全対策を問う

創業希望者と事業主等をマッチングする後継者バンク創設を問う

質問 ①東京都薬用植物園東側へのスーパーマーケット出店は、開発事業だが、市の対応は。

②同店舗は交通量が多い都道144号線に面し、正面にバス停留所もあることから、交通渋滞対策が必要と考えるが市の見解は。

市長 ①周辺住民から駐車場の騒音への意見等があり、事業主と協議の上、フェンスの設置等と遮音対策等を行うことを決めた。

②都が道路拡幅に向けた都市計画事業を進めており改善が見込まれる。交通状況の変化も注視しながら都等に相談していく。

質問 ①創業希望者と後継者不足で悩む事業主等をマッチングする機能は、創業支援等として有効な施策と考えるが見解は。

②仮称後継者バンク創設に向け、市が主導して実現への取り組みをすべきだが、市の見解は。

市長 ①連携している小平商工会等が持つ事業者の情報をもとにマッチングを図ることも可能と考えられるので、引き続き創業相談窓口の充実を図っていく。

②現時点で創設は考えていないが事業承継の相談等を行う団体の活用を事業者へPRしていく。

聖火リレー市内コース設定とGAP認証取得による食材提供を

小野高一議員(政和会)



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

質問 ①オリンピックレガシーの創出はどのように取り組むか。

②市内を走る聖火リレーコースを設定を要請する考えはあるか。

③市内農家が大会へ食材提供するためGAP認証取得を支援する施策について考えは。

市長 ①オリンピック・パラリンピック教育の授業で学習、体験したことを実践し、共生社会の実現に向けた担い手となるよう、来訪者のおもてなしや障害者理解の促進が図れる継続的な取り組みを行っていく。

②1964年の東京大会では、市内

の府中街道、青梅街道、小金井街道が聖火リレーのコースとなつたことから、東京2020大会でも小平市がコースに設定されるよう、東京都に要請していく。

③GAPの認証を受けることにより、生産工程の明確化など、自らの取り組みをPRし、経営コストの削減や消費者の信頼確保など、さまざまな効果が期待できるものと考えている。また、市内農家にとって、東京2020大会への食材調達が可能になるだけでなく、農業経営の基盤強化にもつながるものと考え、J-A東京むさしなども連携し、東京都の動向を注視しながら支援について研究していく。

家庭ごみ有料化、戸別収集と安全・安心な給食の提供について

幸田昌之議員(市議会公明党)



家庭ごみの有料化、戸別収集への移行は市民に丁寧な説明を

質問 ①家庭ごみ有料化・戸別収集への移行について市民の理解をどのように進めるか。市長みずから各地域に出向き説明する責任があると考えが見解は。

②家庭ごみ有料化・戸別収集への移行によるごみ収集事業者の負担をどのように考えるか。

市長 ①市民生活への影響が大きい取り組みのため、積極的な情報発信と市民説明会等で理解が得られるよう丁寧な対応をする。市長が地域に出向き説明することは機会を捉えて判断する。

②戸別収集で収集場所がふえるので負担は増加すると認識している。事業者と定期的に意見交換を行い、移行に向け事業者負担が少なくなるよう検討する。

学園駅前公園の有効活用／5歳児健診／壁打ちの要望を問う

中江みわ議員(フォーラム小平)



一橋学園駅周辺地域の声にどう応えるか

質問 学園駅前公園はタクシーがとめられない、池はいらないなど地域の要望を聞く。公園の有効活用についての方針は。

市長 学園駅前公園は都市計画公園であり、他の用途転用については、可能性の可否を含めて十分な検討が必要と考える。

5歳児健診を実施すべき

質問 ①今年度は8園の保育園を増設したが、巡回相談員の質と量は十分確保できているか。

②5歳児の人数と導入予算は。

③発達支援施策として5歳児健診実施をすべきだが見解は。

市長 ①臨床発達心理士等の増員を行うことを予定している。

②1千7百13人で約7百万円。

③5歳児健診時の問診や診察だけでは、日ごろの様子等の把握が難しいことや、専門医の確保が課題で、導入は困難である。

上水公園テニスコートEコート北側スペース有効活用について

質問 市内には壁打ちがない。テニスコート利用者からの休憩スペースを壁打ちにしてほしいという要望に対して見解は。

市長 壁打ちの整備をする考えはない。

フードロスチャレンジプロジェクト／こども総合支援条例制定

津本裕子議員(市議会公明党)



こだいらフードロスチャレンジプロジェクトを実施しよう

質問 ①家庭への啓発や飲食店との連携でフードロスチャレンジを実施すべきだが見解は。

②京都市のように条例化により食品ロスの削減目標値を明確化し実施すべきだが見解は。

市長 ①食品ロス削減は重要と認識しており、市民や事業者に家庭や宴会等での食品ロス削減をPRし、啓発に努めている。

②生ごみ減量を一般廃棄物処理基本計画の重点施策の1つとし、24年度実績から34年度までに市民1人1日当たりの処理ごみ量原単位を約20%削減、未利

用食品は半減を目標としている。

仮称小平市こども総合支援条例の制定を

質問 ①小・中学校教育の場での体罰防止の取り組みと課題は。

②こども総合支援条例を制定し、子どもたちを支える施策を実施すべきだが見解は。

教育長 ①教員等にアンガーマネジメント研修の実施等している。課題は体罰への正しい認識づけのさらなる徹底等である。

市長 ②第三次長期総合計画に基づく子ども子育て支援に関する個別計画により、多岐にわたる施策を実施しているため、現在のところ考えていない。

よりよい学校環境のために

小林洋子議員(フォーラム小平)



小・中学校の教師の多忙を解消し子どもと向き合う時間確保

質問 教師が子どもたちと向き合う時間を確保するためには、なるべく事務作業を減らし、授業の準備に時間がとれるようにする必要があると考える。いままで教師が負担してきた校務分掌を初め事務作業を事務員に振り分けられないか。また、その場合予算はどのくらいかかるのか。

教育長 事務職員の業務が増加することにより、事務執行に支障を来すため困難であると考え

る。なお、予算額は年間でおおむね6千7百万円となる。

広がる2分の1成人式が本来目指すべき姿とは

質問 ①市内小学校で28年度2分の1成人式を実施した学校は。

②2分の1成人式は何のために行うのか。どのような式が好ましいと考えるか。

教育長 ①小学校全19校で実施した。

②児童に自分の成長を実感させ、本来の自分の可能性に気づかせることを狙いとしている。児童一人一人にとって自分の理想の未来を描きつけかけになることが望ましく、実施に当たっては児童の家庭環境に十分配慮することが重要と認識している。

▲3歳児健診(視力検査)



▲1歳6か月児健診(歯磨き講座)





ダブルケアに対し家族支援を／
誰もが利用しやすい図書館に

山崎とも子議員(生活者ネットワーク)

ふえているダブルケアに対し
家族丸ごと支援の早急な実現を

質問 ①ダブルケアに対し家族丸ごと支援をしていくために市として何ができるか。

②介護情報を子育て支援拠点で、保育情報を地域包括支援センターなどで提供しているか。

③ヤングケアラーの実態調査や対策を行っているか。

市長 ①女性だけがダブルケアを担うことなく、子育て、介護、仕事などを両立できる環境整備や、男性への意識啓発についての情報提供に努めていく。

②子育て相談室などに介護保険べんり帳等を、地域包括支援

センターなどに子育てガイド等を設置していく。

③28年度実施の調査では該当者はいなかった。現在は対策を行っていないが、日ごろの介護相談の中で個別に対応していく。

子どもから高齢者まで
誰もが利用しやすい図書館に

質問 ①花小金井北分室の図書館がある建物の1階に返却ポストは設置できるか。

②図書館を高齢者の居場所として位置づけることへの見解は。

教育長 ①2階分室前にある返却箱の1階移設を検討していく。

②高齢者にも利用しやすい図書館となるよう運営していく。



新入学児童の通学路安全対策と
中1ギャップ／防災・防火訓練

川里春治議員(政和会)

新入学児童の通学路の安全対策と中1ギャップについて

質問 ①不審者が出たときの対応をどう指導しているか。

②入学後に不登校等の問題が生じる中1ギャップへの対応が必要と考えるが見解は。

教育長 ①具体的な行動を示し、日常的な安全指導を進めている。保護者には緊急メールを配信し迅速な連絡体制をとっている。

②環境の変化に適応し安心して中学校生活を送れるよう支援することは、非常に重要だと捉えている。小・中連携教育を推進し、中学校区ごとの取り組みを一層充実させていく。



介護保険制度の改定から高齢者を守る／
公共交通の拡充

木村まゆみ議員(日本共産党小平市議団)

相次ぐ介護保険制度の改定から
高齢者を守るのが自治体の役割

質問 ①26年の介護保険法の改正による負担増でサービスを切り縮めた例など把握しているか。

②介護療養病床の廃止と介護医療院の今後の展開への見解は。

市長 ①負担増によりサービスの利用を控えた事例があったが、全体の中では少数で、利用者の日常生活に直ちに影響を及ぼすものではないと聞いている。

②介護療養病床は経過措置が延長され、当面の間、事業が継続されると捉えている。介護医療院は現時点では介護報酬等具体的な内容が明らかでないため、

国の検討状況を注視していく。

公共交通の拡充は
どこまで進んだか

質問 ①小平南西部地域でのコミュニティタクシーの、現在考

えられているルート案は。

②4ルート走行実現後も生じる交通空白地域をどうするのか。

市長 ①鷹の台駅西側地域の上水新町、小川町などを通るルート案などが出されているが、いずれも道路幅員等の課題があるため、引き続き検討を要する。

②市内の交通機関の状況などを踏まえ、民間交通事業者や近隣市との連携など、既存の交通の活用を含め研究していく。



コミュニティタクシー／
磁気ループ／公園トイレ

吉瀬恵美子議員(日本共産党小平市議団)

花小金井南町と武蔵野団地にも
コミュニティタクシーを

質問 ①花小金井南町ルート拡充についてその後の進捗状況は。

②武蔵野団地の人々の切実な声に対して市の見解は。

市長 ①鈴木町ルートの継続的運行維持のため利用促進を中心に検討しているが、現時点でのルートの拡大は難しいと考える。

②地域の道路幅員が狭いことなど課題も多く、武蔵野団地周辺を運行することは難しい。

市は、磁気ループを購入し、
独自のバリアフリーを確立しよう

質問 ①なかまちテラスの磁気



ひきこもりを地域で支える／
公共施設建築等で環境施策推進を

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

ひきこもりの状態にある人を
地域の中で支えるために

質問 ①子ども・若者の意識・実態調査での、外出頻度の質問結果への見解と今後の対応は。

②ひきこもりの長期化、高齢化への見解は。また、30歳以上の人に実態調査を行っているか。

③29年度予定の就労サポート事業についての計画は。

市長 ①広義のひきこもりは1・5%であった。引き続き、実態把握に努めていく。

②経済的、社会的孤立等の問題があると認識している。30歳以上の実態調査は行っていない。

③未就業の若者を地元企業での就労につなげる計画である。

公共施設の建築等をチャンスに
さらなる環境への取り組みを

質問 ①第二次エコダイヤ・オフィス計画の目標達成状況は。

②公共施設マネジメントによる建物の建築改修では今以上の環境配慮が必要だが見解は。

③学校給食センターの更新について、29年度の取り組みは。

市長 ①達成率は52%である。

②創エネルギーとエネルギー消費効率等を考慮した設計、建築材料の使用等に努める。

③用地を確定した上で、年度末を目途に基本的な方向性を決定していく。



北朝鮮の脅威から
市民の安心・安全をどう守るか

伊藤 央議員(ムサシ)

北朝鮮の脅威から
市民の安心・安全をどう守るか

質問 ①弾道ミサイル攻撃に対し、国民保護計画で対応可能か。

②弾道ミサイル攻撃を想定した避難訓練実施の予定は。

③電子機器を無力化する電磁パルス攻撃への備えは。

④サイバー攻撃への備えは。

⑤大学内で米日帝国主義を壊滅できる力を、より一層徹底的に整えるなどと述べる朝鮮大学校に対する市の認識は。

⑥朝鮮大学校周辺で児童を遊ばせることについて保護者から不安の声がある。武力攻撃事態が発生した場合など市の見解は。

⑦朝鮮大学校への適切な指導、監督を東京都に求める考えはあるか。

市長 ①Jアラートやエムネットを整備し有事に備えている。小平市国民保護計画に基づき、迅速、的確に対処する。

②東京都の動向を注視する。

③弾道ミサイル攻撃に準じた対応を考えている。

④セキュリティ確保に努め職員研修、訓練を実施している。

⑤答弁を差し控える。

⑥報道の影響によるもの。国の指示で全国一律的に対応する。

⑦求めたことはなく、現在のところ求める考えはない。



エリアマネジメント／中央教育
審議会答申は生かされているか

佐野郁夫議員(都民ファーストの会小平)

エリアマネジメントによる
まちづくりについて

質問 ①エリアマネジメントについての市の認識は。

②行政として、エリアマネジメントによるまちづくりのために必要なことは何だと考えるか。

市長 ①一般的には、地元住民等が主体となつて、地域の特性に合った良好なまちづくり、環境や地域の価値の向上等を行う取り組みであると認識している。

②地域全体のバランスに配慮し、地域の主体との連携を図りながら、その活動を促進させるための規制緩和等の支援や対策等が必要であると認識している。

平成10年の中央教育審議会答申はどのように生かされているか

質問 ①答申について、市ではどのように評価しているか。

②今後この答申を生かす必要があると考える取り組みは。

教育長 ①答申には、子どものより良い成長を目指し、社会全体、家庭、学校等が取り組むことが示されており、心の教育の大切さは学習指導要領にも趣旨は反映されていると捉えている。

②心の教育の充実には、各家庭ができることから取り組むことが大切であり、市民一人一人が答申の趣旨を理解し、施策実現を図ることと認識している。



市での磁気ループシステムの活用を





高齢者見守りの輪拡大と住宅確保
要配慮者のための空き家活用

蛇川 浩議員（市議会公明党）

いきいきこだいら高齢者
見守りの輪を大きく広げよう

住宅確保要配慮者のため支援事業
を活用し空き家利活用推進を

質問 ①いきいきこだいら高齢者見守りの輪条例が施行され、関係機関等との連携体制構築が定められたが、28年9月以降の新協定先とその内容は。

②見守りホットラインなどによる関連部署への伝達の検討は。

市長 ①小平商工会等6団体と締結しており、団体の日常業務活動の際に高齢者等の見守りなどを実施してもらうものである。

②29年度末策定予定の次期地域包括ケア推進計画の策定状況を踏まえ、地域の見守り強化策の1つとして研究していく。



国民健康保険は保険料引き下げを
リサイクルセンター工事

細谷 正議員（日本共産党小平市議団）

国民健康保険と後期高齢者医療
は保険税、保険料引き下げを

質問 保険税の負担を軽くする独自の方策を検討してはどうか。

市長 国民健康保険制度の都道府県単位化は財政基盤の強化、事務の効率化等の推進で制度の安定化を図ることが目的であり、独自軽減策は都道府県と各市町村が一体となって実施するという制度改革の趣旨を踏まえ慎重に対応すべきと考える。

リサイクルセンター更新工事と
公契約条例検討について

質問 リサイクルセンター更新工事は、市内業者の受注や共同



コミュニティバスなどの活用
拡大／若い世代の希望の成就

吉本ゆうすけ議員（フォーラム小平）

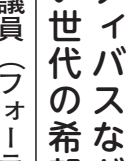
コミュニティバス、コミュニティ
タクシーのさらなる活用を

質問 ①コミュニティタクシーの土日運行をどう考えているか。

②運転免許証の自主返納者にコミュニティバスなどの利用券等の配布は、利用を促進にするために有効と考えるが、見解は。

市長 ①運行経費の不足分を各地域とも公費で約50万円補填しているが、土日運行は経費が増加し、50万円の公費負担を上回る予想のため実施は難しい。

②低い金額での利用など既に利用促進を図っている。利用券等無料配布は、公費負担増となるため考えていないが、返納者



認知症者を地域で支える／
受験生応援インフルエンザ予防助成

山岸真知子議員（市議会公明党）

福祉SOSゲームなどを活用し
認知症の人を地域で支えよう

質問 ①草加市の福祉SOSゲームのような認知症高齢者等への対処の仕方を学ぶ取り組みを実施できないか。

②東京大学のコンビニ協働プロジェクトを参考に、コンビニエンスストアと連携した認知症の理解を深めてもらう取り組みをすべきと考えるが見解は。

市長 ①今後、認知症に関する講座を効果的に行う手法の1つとして研究していく。

②今後、東京大学の研究結果などを踏まえ、市での取り組み方法について研究していく。



自殺に追い込まれることのない
社会を／住まいの保障について

平野ひろみ議員（生活者ネットワーク）

だれも自殺に追い込まれる
ことのない社会をめざすために

質問 ①市内の自殺の傾向は。

②自殺対策に向けた市の考え方と今後の方向性について。

③市が実施する取り組みの実績と今後は。

市長 ①7年間を通しておおむね35人で推移。年代別割合と死亡率が国や都、26市と比較して20歳代と40歳代がやや高い。

②背景のさまざまな社会的要因を踏まえて総合的に取り組み、市の自殺対策に関する計画の策定を検討する。

③助産師によるいのちの大切さについての授業、市職員や関



防災等に資するWiiFi整備／
クールビズ冷房温度設定

永田政弘議員（政和会）

防災等に資するWiiFi環境
の整備計画をどう考えるか

質問 ①町田市のWiiFi街だ君のように、民間事業者と協調した整備の推進は図れないか。

②災害時の情報確保の手段としてWiiFi環境整備を早急に進めるべきと考えるが見解は。

市長 ①防災、減災に効果的だが、1か所250万円から300万円費用がかかる。防災以外の活用の研究も必要と考える。

②災害時、より多くの市民がWiiFiを利用できることは有効と考える。国の計画は平時の教育での活用等で利便性を図ることも主旨としており、今後、



緑を生かしたまちづくり／伝統文化
を守る／見守りカメラ設置

磯山 亮議員（政和会）

緑を生かし、小平らしい
まちづくりを進めるために

質問 ①農家レストランが、市の農業振興に与える効果は。

②農家レストラン等への取り組みを行う農業に支援を行うことが必要と考えるが見解は。

③民間事業者による公共還元型の収益施設の設置管理制度が創設され、カフェなどの施設が都市公園に設置できるようになる。中央公園等、市内の公園に制度を活用してはどうか。

市長 ①農業所得増大を図る上で、有効な手段と考える。

②国や都の動向を注視しながら研究する。

質問 中学校の通学路に見守りカメラを設置すべきだがどうか。

教育長 現時点では、設置の予定はない。



入札はどのように行われるのか（小平市総合評価方式ガイドライン）



更新工事が予定されている小平市リサイクルセンター



動く市役所事業の拡充／再び、大沼町の黒い汚れについて

佐藤 充議員（日本共産党小平市議員）

動く市役所事業の拡充について

質問 ①動く市役所事業の評価と、必要と考える改善点は。

②大沼地域センターの巡回コースの中に大沼公民館を加える工夫ができないか。

市長 ①市役所等から遠い地域の住民には利便性の高い事業と認識している。より市民ニーズに沿ったサービスとなるよう、必要に応じ、巡回会場や日程等を検討することであると考える。

②平成26年度から大沼公民館等で証明書臨時交付窓口を年1回開設している。利便性向上を図る中で総合的に検討していく。

再び、大沼町の黒い汚れについて

質問 ①大沼町二丁目の東久留米市境周辺の黒い汚れの原因究明について、進捗状況は。

②住民の不安は、健康への影響や住宅への一層の汚れが中心だが、その対策はどうするのか。

市長 ①都や近隣市等から情報収集を行っているが、同様の事象や原因についての新情報はなく、原因究明には至っていない。

②今後も引き続き状況を注視し、必要に応じて速やかに市民への情報提供を行っていく。なお、現在まで黒い汚れに起因する健康被害は報告されていない。



小学校区ごと居場所をつくる公約／鷹の台駅周辺のまちづくり

橋本久雄議員（緑の党こだいら）

小学校区ごとに居場所をつくる公約の実現は

質問 ①市長の公約に空き家などを活用して小学校区ごとに居場所をつくることあるが、空き家の調査はしないのか。

②4年間に何か所整備するか。

③空き店舗活用の考えは。

④市民参加で検討委員会をつまてにつくるのか。

市長 ①まずは既存の公共施設を活用していく。

②住民の意向や機運を見きわめ地域活動支援が必要と考える。

③第1点目のとおり、まずは既存の公共施設を活用していく。

④具体的な計画はない。

鷹の台駅周辺のまちづくりプロジェクトの立ち上げについて

質問 ①鷹の台駅前の店舗は約56が約29に減り、半減した。駅周辺まちづくりの今後の考えは。

②創価学園跡地の利活用は。

③仮称鷹の台駅周辺まちづくりプロジェクトをつくれないうか。

市長 ①玉川上水等との一体的なまちづくりなどが考えられる。

②一時的避難集合場所利用に向け、地権者と確認書を交わしている。

③考えていない。

【掲載分以外の質問項目】
○審議会等での議事録や配付資料は統一した基準で公開を



LGBT理解を／ごみ有料化は市民目線で／投票の環境整備を

日向美砂子議員（生活者ネットワーク）

オリンピック・パラリンピック開催に向けて人権意識の醸成を

質問 性的指向による差別や偏見をなくし理解を深めるための、職員向けLGBT研修の実施状況と今後の展望は。

市長 28年度は入庁3年目職員に独自研修を行った。本年度は部長等を対象に研修等を実施する。

ごみ減量を通して市民がみずからつくる循環型社会の実現を

質問 ①戸別収集の経費と有料化による収入との収支見込みは。

②家庭ごみ有料化に向けた検討過程での市民参加をどのような

若者から高齢者まで投票しやすい環境整備を

質問 高齢者や障害者のために投票所の増設や投票日の公共交通の活用を考えられないか。

選挙管理委員会事務局長 財源や人員配置等の制約の中で全体的バランスを考慮しており、いずれも考えていない。

用語の解説

※GAPとは
Good Agricultural Practice（農業生産工程管理）の略称で、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。GAP認証を受けることにより、生産工程を明確化し、みずからの取り組みをPRすることで、経営コストの削減や消費者の信頼確保などさまざまな効果が期待できる。

たり、お金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。

また、有権者が政治家に対し寄附を求めることも禁止されています。

具体例は次のとおりです。

○お中元やお歳暮

○お祭りへの寄附や差し入れ

○秘書や家族などが代理で出席する場合の結婚祝いや香典

○町内会の集会や旅行等の催し物への寸志や飲食物の差し入れ

○病氣見舞い

○葬式の花輪や供花

○落成式、開店祝いの花輪やお祝い

○運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れなど

市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

議員の寄附行為は禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体にあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出し



消防団のさらなる充実／市政情報をお届けするために

竹井ようこ議員（フォーラム小平）

安心・安全の担い手である消防団のさらなる充実に向けて

質問 ①定員に対して団員が若干少ないが、原因と対策は。

②女性団員がいらないが、必要性の認識と増員対策は。

③学生や被雇用者の募集は。

市長 ①被雇用者の比率が高まっているので、事業者との協力体制を構築し理解を求める。

②地域の防災力向上のための防火診断や広報活動、応急手当の普及等、女性の活躍も期待できる。活用は引き続き研究する。

③消防庁は機能別消防団員の導入を進めている。市も若い世代や被雇用者が参加しやすい消

防団活動について研究していく。

市政情報を市民に確実に届けるために

質問 ①市報の世帯カバー率は。

②今後の市報配布への考えは。

③市民との双方向コミュニケーションを図る施策は。

市長 ①総世帯の8割程度をカバーできていると考える。

②新聞折り込みを基本として、それ以外での配布も実施する。より多くの人に読んでもらえる配布方法について検討する。

③SNS活用を検討するほか、市民活動団体等のネットワークを活用した情報提供は、情報を届ける効果が高いと考える。



放置・盗難自転車対策／図書館のハンディキャップサービス

浅倉成樹議員（市議会公明党）

放置自転車及び盗難自転車への対策について

質問 ①放置自転車対策の現状と今後の課題をどう考えるか。

②自転車に貼付されている学校、マンション等のシールに所有者を特定する番号を添付するよう啓発する考えはあるか。

市長 ①条例により自転車等放置禁止区域を指定し放置自転車は撤去している。撤去自転車は減少したが、依然として歩行者等の安全な通行等を妨げているため、引き続き撤去していく。

②自転車の所有者は防犯登録が義務づけられており、警察へ照会することで所有者確認がで

さるものと認識している。

図書館のハンディキャップサービスについて

質問 ①ハンディキャップサービスの利用者数は。また、そのうち視覚障害者の利用者数は。

②ハンディキャップサービス充実のために何が必要か。

教育長 ①28年度は50人で、そのうち視覚障害者は45人だった。

②来館や情報入手が容易でない人に対し、ハンディキャップサービスの情報が十分に届くよう、関連課との連携やボランティアの協力などにより、幅広い視点から情報を広めていくことが必要だと考える。



松の木通りの拡幅等と住民税をめぐる財政運営上の諸課題

宮寺賢一議員（政和会）

松の木通りの拡幅と東京都薬用植物園北側出入口新設を

質問 ①中島町の松の木通りは車両通行が激しいが、樹林地側へ拡幅する場合の課題は。

②東大和市駅を利用する東京都薬用植物園入園者の利便性の向上のため、北側出入口新設を都に要請する考えはあるか。

市長 ①現時点では拡幅の予定はないが、仮に行う場合、歴史環境保全地域の指定を受けた樹林地の区域変更等が考えられる。

②松の木通り沿いの職員通用口を一般利用できないか確認したが、来園者の安全確保の難しさなどから開放は困難と聞いて

おり、要請は考えていない。

住民税をめぐる財政運営上の諸課題について

質問 ①ふるさと納税制度への市の評価と対応は。

②法人住民税の一部国税化について、復元への見解と道筋は。

市長 ①自分の意思で寄附先の自治体を選べる意義があるが、応益負担の原則等から課題もある。国の要請を踏まえ、節度ある範囲で返礼品を送付している。

②税制改正大綱にも道筋は立てられていないが、増大する行政サービスへの的確な対応には市税収入確保が不可欠であるため国の動向を注視していく。



▶東京都薬用植物園北側の出入口（職員通用口）



▲松の木通りの拡幅に対する考えは

会派の構成

会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成されています。小平市議会では、議会基本条例第4条で議会活動を行うため、会派を結成することができると定められています。2人以上の議員をもって会派を構成することができます。 ○＝幹事長

市議会公明党（6人）
○津本 裕子 浅倉 成樹 蛇川 浩
佐藤 徹 山岸真知子 幸田 昌之

政和会（5人）
○磯山 亮 小野 高一 川里 春治
永田 政弘 宮寺 賢一

生活者ネットワーク（4人）
○平野ひろみ さとう悦子 日向美砂子
山崎とも子
《無会派》

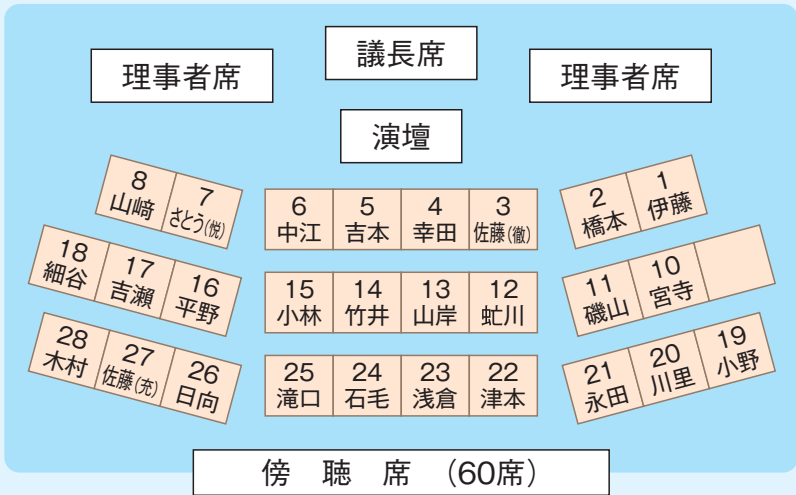
ムサシ（1人）
伊藤 央

フォーラム小平（6人）
○石毛航太郎 小林 洋子 滝口 幸一
竹井ようこ 中江 みわ 吉本ゆうすけ

日本共産党小平市議団（4人）
○佐藤 充 吉瀬恵美子 木村まゆみ
細谷 正
《無会派》

緑の党こだいら（1人）
橋本 久雄

議場議席図



意見書
6月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。（要旨）

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関するものについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。（地方自治法第99条）

組織的犯罪処罰法改正案の慎重審議を求める意見書

政府が今国会に上程した組織的犯罪処罰法改正案は、犯罪に関係のない国民の人権、プライバシーの侵害、言論の自由をも脅かす監視・密告社会をつくることになる懸念する声があります。近代刑法では、被害が生じた場合、少なくとも犯罪行為に着手した場合に、その犯罪行為を処罰することが原則です。

しかし、この法案は、実行していかなくても、相談、計画（共謀）し、犯罪準備行為をした段階で裁判所の令状をとれば捜索ができるとするものです。そのため、憲法の保障する思想、良心、言論の自由など基本的人権を侵すのではないかとの危惧をする国民もいます。

5月20日、21日に共同通信社が行った世論調査では組織的犯罪処罰法改正案に関し、政府の説明が十分だと思わないとの回答が77・2％でした。また、国連特別報告者ジョセフ・ケナタツ氏が安倍晋三首相に送った5月18日付の書簡は、組織的犯罪処罰法改正案がプライバシー表現の自由を制約するおそれがあると懸念を示しています。

こうした懸念に対して、政府は、組織的犯罪集団という要件を加えるので一般の方々その対象になることはあり得ないとしています。

しかし、政府は、これまでの国会答弁では組織的犯罪集団が既存の集団に限られないとしており、その定義も曖昧で、取り締まる側の恣意的な運用により、市民団体や労働組合等も対象にされかねないとの不安の声に込めるべきです。

よって本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、組織的犯罪処罰法改正案が国民の人権、プライバシーの侵害、言論の自由をも脅かすことのないように、今国会での成立にこだわらず慎重な審議を強く求めます。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣あて

議会日誌

1 月

- 18日 にぎわいまちづくり調査特別委員会
- 19日 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 20日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
- 24日 三重県津市議会議員視察来庁（リサイクルきやらばんについて）
- 30日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会

2 月

- 1日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 2日 宮崎県日南市議会議員視察来庁（議会改革について）
- 6日 総務委員会（日野市視察）
- 7日 生活文教委員会
- 8日 厚生委員会
- 9日 環境建設委員会
- 10日 全員協議会
- 13日 市議会議員研修会
- 14日 東京都十一市競輪事業組合議会
東京都四市競艇事業組合議会
多摩六都科学館組合議会
湖南衛生組合議会
- 16日 小平・村山・大和衛生組合議会
多摩北部都市広域行政圏協議会審議会
- 20日 幹事長会議
- 22日 東京たま広域資源循環組合議会
- 23日 議会運営委員会
- 24日 昭和病院企業団議会
- 28日 3月定例会初日

3 月

- 1日 3月定例会2日目（一般質問）
- 2日 3月定例会3日目（一般質問）
- 3日 3月定例会4日目（一般質問）
- 6日 3月定例会5日目（代表質問）
- 7日 一般会計予算特別委員会
- 8日 一般会計予算特別委員会
- 9日 一般会計予算特別委員会
- 10日 特別会計予算特別委員会
- 13日 小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会
- 14日 総務委員会
- 15日 生活文教委員会
- 16日 厚生委員会
- 17日 環境建設委員会
- 21日 広聴広報特別委員会
- 22日 幹事長会議
- 23日 議会運営委員会
- 28日 3月定例会最終日
正副委員長協議会
広聴広報特別委員会
- 30日 東京都十一市競輪事業組合議会臨時会
東京都四市競艇事業組合議会臨時会

1月18日～7月18日

本会議、委員会、諸会議など

4 月

- 14日 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
- 18日 広聴広報特別委員会
- 19日 幹事長会議（臨時）
- 24日 議会運営委員会（臨時）
- 26日 4月臨時会
- 27日 新議員研修会
- 28日 新議員研修会

5 月

- 1日 新議員研修会
- 8日 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
- 9日 幹事長会議（臨時）
- 10日 千葉県市川市議会議員視察来庁（都市計画マスタープラン、太陽光発電について）
- 12日 市民と議会の意見交換会
- 13日 市民と議会の意見交換会
- 15日 幹事長会議（臨時）
- 16日 総務委員会
- 17日 生活文教委員会（市内視察）
- 18日 厚生委員会（葛飾区視察）
- 19日 環境建設委員会（市内視察）
東京都三多摩地区消防連合協議会
- 22日 幹事長会議（臨時）
- 25日 幹事長会議（臨時）
- 26日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会
- 29日 幹事長会議
東京都十一市競輪事業組合議会臨時会

6 月

- 1日 議会運営委員会
- 6日 6月定例会初日
幹事長会議（臨時）
議会運営委員会（臨時）
正副委員長協議会
- 7日 6月定例会2日目（一般質問）
- 8日 6月定例会3日目（一般質問）
- 9日 6月定例会4日目（一般質問）
- 13日 総務委員会
- 14日 生活文教委員会
- 15日 厚生委員会
- 16日 環境建設委員会
- 19日 広聴広報特別委員会
- 20日 都市基盤整備調査特別委員会
- 21日 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 22日 東京都四市競艇事業組合議会臨時会
- 23日 幹事長会議
- 26日 議会運営委員会
6月定例会最終日
広聴広報特別委員会

7 月

- 3日 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
多摩六都科学館組合議会臨時会
- 12日 小平・村山・大和衛生組合議会行政視察（茨城県ひたちなか市、千葉県船橋市 13日まで）
- 14日 東京都河川改修促進連盟総会及び促進大会
- 18日 広聴広報特別委員会

「市民と議会の意見交換会」を開催しました

市議会では「小平の暮らし・健康・まちづくり あなたの声を聴かせてください」をテーマに、今年初めての意見交換会を市内2会場で開催しました。市の主な事業など市政全般について報告をした後、市民の皆さんとグループに分かれて、意見交換を行いました。

5月12日(金) 東部市民センター(集会室) 19時から 参加者16人
5月13日(土) 中央公民館(講座室2) 14時から 参加者25人

それぞれの会場で多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果については、市議会ホームページ（<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>）のほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

今後も市民の皆さんとの意見交換の機会を定期的に設けていきます。多くの方のご参加をお待ちしております。



▲東部市民センターの意見交換会の様子



▲中央公民館の意見交換会の様子

議員の退職

佐野郁夫議員（都民ファーストの会小平）が、6月23日付で、公職選挙法第90条の規定により退職しました。
これにより市議会議員の現員数は27人（定数28人）となりました。

議場見学

《小学3年生》

- 1月27日 四小 87人
- 5月25日 八小 65人
- 6月1日 七小 108人
- 6月2日 二小 82人
- 6月13日 十二小 84人
- 6月15日 九小 95人
- 6月15日 花小金井小 74人
- 6月20日 学園東小 67人
- 6月22日 十三小 70人
- 6月22日 三小 100人

あとながき

新しい議会人事が決定し、委員会等の構成が変わったことに伴い、本号から広聴広報特別委員会も新しいメンバーでスタートいたしました。

今後も市議会の活動について積極的にお知らせするとともに、よりわかりやすく親しみやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1 8701 小平市小川町二丁目

1 3 3 3 番地

FAX 042 (346) 9567
TEL 042 (346) 9566